

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成25事業年度の業務実績に関する評価結果

平成26年7月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会

目 次

I	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの年度評価の考え方	…………… 1
II	全体評価	… 2・3
III	項目別評価	…………… 4
1	住民に対して提供するその他の業務の質の向上に関する目標を達成 するためとるべき措置	…………… 4
	評価結果と判断理由	… 4～6
2	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき 措置	…………… 6
	評価結果と判断理由	… 6・7
3	財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置	…………… 7
	評価結果と判断理由	… 7・8
4	その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置	…………… 8
	評価結果と判断理由	… 8～10

I 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの年度評価の考え方

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会では、平成22年10月1日に新設型の地方独立行政法人として設立された地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター（以下「法人」という。）について、平成23年2月9日に策定した「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績に関する評価の方法」に基づき以下のとおり評価を実施した。

【評価の基本方針】

業務の実績に関する評価は、地方独立行政法人法(以下「法」という。)第28条の規定による「各事業年度に係る業務の実績に関する評価」とし、中期目標及び中期計画に基づき作成された年度計画を踏まえ、当該事業年度における業務の実績の全体について、総合的な評価を実施した。

【各事業年度に係る業務の実績に関する評価の方法】

各事業年度に係る業務の実績に関する評価は、法第26条第2項に係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて実施した。

(1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、5・4・3・2・1の5段階による評価を実施した。

- 5 … 年度計画を大きく上回って実施している
- 4 … 年度計画をやや上回って実施している
- 3 … 年度計画を予定どおりに実施している
- 2 … 年度計画を十分には実施できていない
- 1 … 年度計画を大幅に下回っている

(2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、S・A・B・C・Dの5段階による評価及び記述式による評価を実施した。

- S … 計画を大幅に達成し、又は計画よりも大幅に進捗していると認められる
- A … 計画をやや超えて達成し、又は計画よりもやや進んでいると認められる
- B … 概ね計画どおりに進んでいると認められる
- C … 計画をやや下回り、又は計画よりもやや遅れていると認められる
- D … 計画をかなり下回り、若しくは計画よりも大幅に遅れ、又は業務運営に関して重大な改善すべき事項等が認められる

(3) 評価等の手順

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務運営等に関する規則第6条の規定により、平成26年6月10日に法人からの項目別評価に準じた自己評価入りの年度業務実績報告書及び関係資料の提出を受け、法人の理事、職員等に対する聞き取りなどを行い評価を実施した。

II 全体評価

(1) 評価結果と判断理由

全体評価結果：B「概ね計画どおりに進んでいると認められる」

法人は、平成22年10月1日に設立され、平成22年度から平成25年度までの中期目標・中期計画の期間は、病院開院に向けた準備期間にあたることから、病院建設に係る設計、建設事業を行うとともに、医師・看護師等の人材の確保を図り、病院運営の仕組みを構築し、併せてこれらを推進するための資金の確保・調達を行う重要な期間にあたる。

平成25年度は、この最終年度として、開院準備を完了させて病院運営を行う第2期に繋げる期間にあたり、平成26年度の部分開院・病院運営を行うための事業を実施しており、項目別評価については、年度計画の25項目中、18項目が「3：年度計画を予定どおりに実施している」、7項目が「4：年度計画をやや上回って実施している」と判定したため、全体評価については「B：概ね計画どおりに進んでいると認められる」とした。

なお、全体評価を行うにあたり特に以下の大項目ごとの特記事項について評価した。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・救命救急センターを併設し、救急・急性期医療を核とした医療提供が行える地域の中核病院を建設し平成26年1月31日に竣工引渡しを受けた。
- ・施設については、病院本棟、エネルギー・防災倉庫棟、保育所、医師看護師宿舎、駐車場（746台）、手術室6室（うち1室はハイブリッド手術室）、ほかに救急処置手術室、外来小手術室を整備した。
- ・部分開院時に16科となる以下の診療体制を整えた。
内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科
- ・開院時に必要となる以下の放射線関連医療機器の導入を行った。
X線CT装置320列 1台、MRI（1.5T）1台、IVR-CT装置（アンギオCT）1台、パイプラインX線血管造影装置 1台、ハイブリッド手術室対応血管造影装置 1台、X線TV装置 1台、X線一般撮影装置 2台、ポータブルX線撮影装置 2台、DR画像処理システム 1式、3D画像処理システム 1式

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムの導入を行った。
- ・以下の業務委託契約を締結し、開院準備体制の構築を行った。
外注検査業務（検体検査／微生物学的検査・病理学的検査）、物流管理業

務等運營業務、患者給食及び職員食堂業務、リネン管理等運營業務、清掃・警備・施設維持管理業務、廃棄物収集運搬処分業務（一般／産業）、医事等業務、保育所運營業務、売店等運営事業、運営体制支援業務

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- ・健全な経営基盤の確立にあたり、地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムを導入した。
- ・建設費抑制のための仕様変更を実施し、機能・効率性を考慮して建設工事を進めた。
- ・給与規程等の整備と退職金の算定方法にポイント制度を導入した。
- ・第2期中期計画の策定にあたり、35年度まで(10年間)の予算、収支計画、資金計画を作成した。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置、予算

- ・収支計画・資金計画等
- ・医師に関しては、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介して、29名(平成26年4月採用含む)を確保した。
- ・看護師に関しては、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等を実施し、123名(平成26年4月採用含む)を確保した。
- ・コメディカル職員(看護師除く)及び事務職員の募集を行い、以下のとおり確保した。薬剤師9名、臨床検査技師11名、診療放射線技師10名、管理栄養士2名、臨床工学技士3名、理学療法士3名、作業療法士1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務職13名 合計53名(平成26年4月採用含む)

第5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画

- ・法第34条の規定により財務諸表等は別に評価した。

第6 短期借入金の限度額から第9 料金に関する事項まで

- ・該当事項がないため評価しない。

第10 その他業務運営に関する重要事項(平成25年度)

- ・施設及び設備に関する計画については、「第1住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置」で評価したとおり。
- ・積立金の処分に関する計画については、該当がないため評価しない。

Ⅲ 項目別評価

1 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：3

14項目中、10項目が「3：年度計画を予定どおりに実施している」、4項目が「4：年度計画をやや上回って実施している」ことから評価結果を「3」とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①メディカルセンターの医療機能

- ・救命救急センターを併設し、救急医療・急性期医療を核とした医療の提供が行える地域の中核病院を建設（平成26年1月31日竣工引渡し）
- ・開院時の16科診療体制の整備（内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科）
- ・千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介しての医師（特任教員）確保及び臨床教育センターの設備整備
- ・4疾病4事業に対応した医療機能を有する施設整備
- ・脳卒中、急性心筋梗塞にも対応した救急医療体制の整備及び救命救急センターの指定（平成26年4月1日）
- ・地域災害拠点病院及びDMAT指定医療機関の指定（平成26年4月1日）

②メディカルセンターの施設整備

- ・建設工事の実施（平成26年1月24日完了検査、1月31日竣工引渡し）
- ・施設整備（病院本棟、エネルギー・防災倉庫棟、保育所、医師看護師宿舎45戸、駐車場746台、手術室6室（うち1室はハイブリッドオペ手術室）、救急処置手術室、外来小手術室）
- ・関係法令を順守し、許可権者等の指示に従った工事を行い、完了検査済証等を取得
- ・安全に配慮した工事計画による無事工期内の終了

③メディカルセンターの設備整備

- ・許可権者等の指示に従った工事を行い、完了検査証等を取得
- ・工程管理、出来高管理による建物竣工引渡し（平成26年1月31日）
- ・メディカルセンターの放射線関連医療機器について費用対効果を考慮し、開院時に必要な機器を導入

④メディカルセンターの人材確保

- ・千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムによる医師29名の確保
- ・看護部長を中心とした募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就

職説明会等の実施による看護師130名の確保

⑤医師会や地域の医療機関等との連携

- ・メディカルセンターの医師が県立東金病院にて診療参加（医療機能の役割分担を進めるとともに引継ぎを実施）
- ・山武長生夷隅医師会医師や消防・行政機関等に対するメディカルセンターの役割や機能に関する講演や意見交換
- ・地域医療連携室準備担当の医療ソーシャルワーカーが地域医療機関を訪問し医療状況の把握と医療連携の取り組みを実施
- ・メディカルセンターと地域の医療機関等との医療連携を円滑に進めるための「山武長生夷隅保健医療圏における地域医療連携会議」への出席及び意見交換
- ・「二次救急医療輪番制検討協議会」に参加による平成26年度からの二次救急輪番の参加決定

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①メディカルセンターの医療機能	1		1			
②メディカルセンターの施設整備	5		1	4		
③メディカルセンターの設備整備	5		1	4		
④メディカルセンターの人材確保	2		1	1		
⑤医師会や地域の医療機関等との連携	1			1		
合計	14		4	10		

評価にあたっての意見、指摘事項等

①メディカルセンターの医療機能

- ・開院時に三次救急を行う救命救急センターの指定はもとより、地域災害拠点病院及びDMAT指定医療機関の指定まで受けたことは評価できる。
- ・平成26年1月31日に竣工引渡しを受けた後、2ヶ月で16科となる診

療体制を整えたことは評価できる。

②メディカルセンターの施設整備

- ・ハイブリッド手術室をはじめ最先端の医療施設やドクターヘリ・ヘリポート、また、職員向けの保育所などを整備できたことは評価できる。
- ・安全と共に、近隣に配慮した工事が計画どおり進み、各種認可・許可を受け、開院できたことは評価できる。

③メディカルセンターの設備整備

- ・安全と共に、近隣に配慮した工事が計画どおり進み、各種認可・許可を受け、開院できたことは評価できる。
- ・三次救急に対応した放射線機器をはじめ最先端の医療機器等を整備できたことは評価できる。

④メディカルセンターの人材確保

- ・千葉県内、山武長生夷隅圏内の医師・看護師不足の状況の中、医師29名、看護師130名を確保できたことは評価できる。
- ・新設の病院は、多くの人々の集まりであり、定着が課題となり、看護の質の担保が定着・確保につながる。今後も認定看護師等の公募や支援を引き続き行っていただきたい。
- ・麻酔科については、非常勤医師等により手術等の対応ができていたことであるが、予定する常勤医師を確実に確保していただきたい。

⑤医師会や地域の医療機関等との連携

- ・計画どおり連携を進めており、また、次年度につながる実績について評価できる。

2 「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：3

3項目中、全て「3：年度計画を予定どおりに実施している」ことから評価結果を「3」とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①効率的で財政上も健全な運営方法の確立

- ・ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムの導入
- ・各業務委託の契約締結及び開院に向けた開院体制の整備

②魅力ある人事・給与制度の確立

- ・医師の給与制度を整えるため、給与規程等を整備
- ・在職中の貢献度を反映しやすくするため、退職金の算定方法にポイント制度を採用

③会計制度の整備と運用

- ・地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムの導入

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①効率的で財政上も健全な運営方法の確立	1			1		
②魅力ある人事・給与制度の確立	1			1		
③会計制度の整備と運用	1			1		
合 計	3			3		

評価にあたっての意見、指摘事項等

なし

3 「財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：3

5項目中、4項目が「3：年度計画を予定どおりに実施している」、1項目が「4：年度計画をやや上回って実施している」ことから評価結果を「3」とした。

〈項目別評価にあたって考慮した事項〉

①健全な経営基盤の確立

- ・平成29年度までを計画期間とする第2期中期計画の策定にあたり、職種ごとの採用予定人数を定めた
- ・ネットワークシステム構築及び電子カルテを中心とした情報システムの導入
- ・地方独立行政法人会計基準に適した財務会計システムの導入

②支出の適正化

- ・建設費抑制のための仕様変更による機能・効率性を考慮した建設工事
- ・医師の給与制度を整えるため、給与規程等を整備
- ・在職中の貢献度を反映しやすくするための退職金の算定方法にポイント制度導入
- ・平成29年度までを計画期間とする第2期中期計画の策定にあたり、3

5年度まで(10年間)の予算、収支計画、資金計画を作成
 (項目別評価の集計結果)

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		年度計画を大きく上回って実施している	年度計画をやや上回って実施している	年度計画を予定どおりに実施している	年度計画を充分には実施できていない	年度計画を大幅に下回っている
①健全な経営基盤の確立	2			2		
②支出の適正化	3		1	2		
合計	5		1	4		

評価にあたっての意見、指摘事項等

②支出の適正化

- ・ 建築費の高騰や建築業界の人材不足など社会情勢を考慮すると、建設費抑制のための仕様変更を実施、機能・効率性を考慮して建設工事を進めたことは評価できる。

4 「その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置」に関する項目別評価

評価結果と判断理由

○ 評価結果：4

3項目中、1項目が「3：年度計画を予定どおりに実施している」、2項目が「4：年度計画をやや上回って実施している」ことから評価結果を「4」とした。

(項目別評価にあたって考慮した事項)

①実施スケジュールの確立

- ・ 開院前年度にあたり、事務部門のほか薬剤、検査、放射線部門等の組織、人員体制整備
- ・ 東千葉メディカルセンター建設工事及び工事監理業務の実施による竣工引渡し
- ・ 開院に必要な医療機器の設置と物品調達
- ・ 開院に必要な業務委託契約を実施
- ・ 千葉大学医学部・同附属病院との連携のもと、千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターのシステムを介して医師29名(特任教員)の確保(再掲)
- ・ 看護部長を中心とした募集体制を整え、看護師養成施設等の訪問及び就職説明会等の実施による看護師130名の確保(再掲)

- ・看護師養成機関学生奨学金制度の給付（給付者30名）
- ・認定看護師資格取得支援（平成24年度に応募のあった救急看護1名及び糖尿病看護1名に対する支援）
- ・開院準備のため千葉大学医学部附属病院、千葉県立病院で看護師の教育研修を実施
- ・開院後のICU、HCU、一般病棟の開棟に合わせた看護体制計画の策定
- ・看護部を中心とした看護手順、看護マニュアルの整備
- ・新人看護師の採用時研修計画の策定
- ・コメディカル職員（看護師除く）及び事務職の募集（薬剤師9名、臨床検査技師11名、放射線技師10名、管理栄養士2名、臨床工学技士3名、理学療法士3名、作業療法士1名、医療ソーシャルワーカー1名、事務職13名（平成26年4月採用含む））

②財政負担の原則

- ・東金市及び九十九里町からの負担金、貸付金及び千葉県からの補助金を財源として、施設設備（9,618百万円）を実施

③地域に対する広報等

- ・建設工事進捗状況、看護師の公募等の情報を市町広報等に掲載
- ・医療センターニュースの発行（1回）、
- ・ホームページのリニューアルによる診療情報の充実（ホームページ年度末アクセス件数単年度102,368件、累計198,668件）

〈項目別評価の集計結果〉

	評価の対象項目数	5	4	3	2	1
		回って実施している 年度計画を大きく上	って実施している 年度計画をやや上回	りに実施している 年度計画を予定どお	実施できていない 年度計画を充分には	回っている 年度計画を大幅に下
①実施スケジュールの確立	1		1			
②財政負担の原則	1		1			
③地域に対する広報等	1			1		
合計	3		2	1		

評価にあたっての意見、指摘事項等

①実施スケジュールの確立

- ・千葉県内、山武長生夷隅圏内の医師・看護師不足の状況の中、医師29名、看護師130名を確保できたことは評価できる。
- ・人員確保、教育等、綿密なスケジュールの下に実施し、ほぼ計画どおり実

施・開院できたことは評価できる。

②財政負担の原則

- ・施設及び設備整備に関して、建築材料費の高騰や建築業界の人材不足などの社会情勢を考慮すると年度予算内で費用を収めたことは評価できる。

③地域に対する広報等

- ・広報、ホームページは住民にとって非常に重要な情報源であるため、わかりやすい情報提供をしていただきたい。
- ・ホームページのアクセス件数から、地域住民等の関心と期待が伺われる。今後もホームページの充実に期待する。